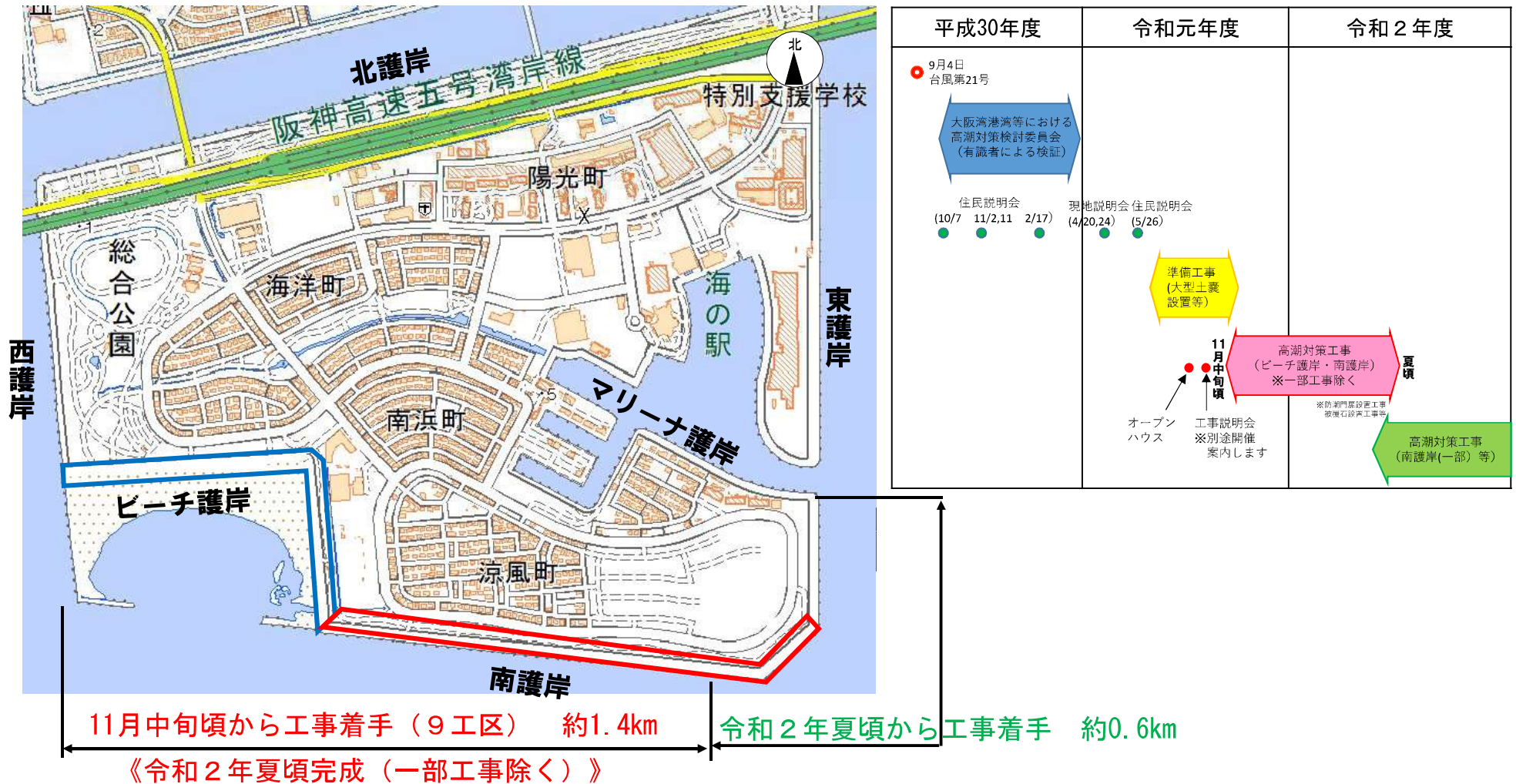


# 南芦屋浜の高潮対策について

- 平成30年9月の台風第21号による浸水被害を受け、南芦屋浜では高潮対策を進めています。
- このうち、越波の大きかったビーチ護岸と南護岸では、今秋から高潮対策工事に着手し、令和2年夏頃までに概ねの対策が完了できるよう進めていきます。
- 東護岸、北護岸、西護岸、マリナー護岸についても、対策の検討を進め、引き続き、対策工事に着手していきます。



# 南芦屋浜（ビーチ護岸・南護岸）の高潮対策計画案

## 計画の考え方①

防潮堤を2段で設置（中壁、後壁）して平成30年台風第21号と同様の高潮・高波が満潮時に来襲しても、浸水被害を生じさせない対策を行います

## 計画の考え方②

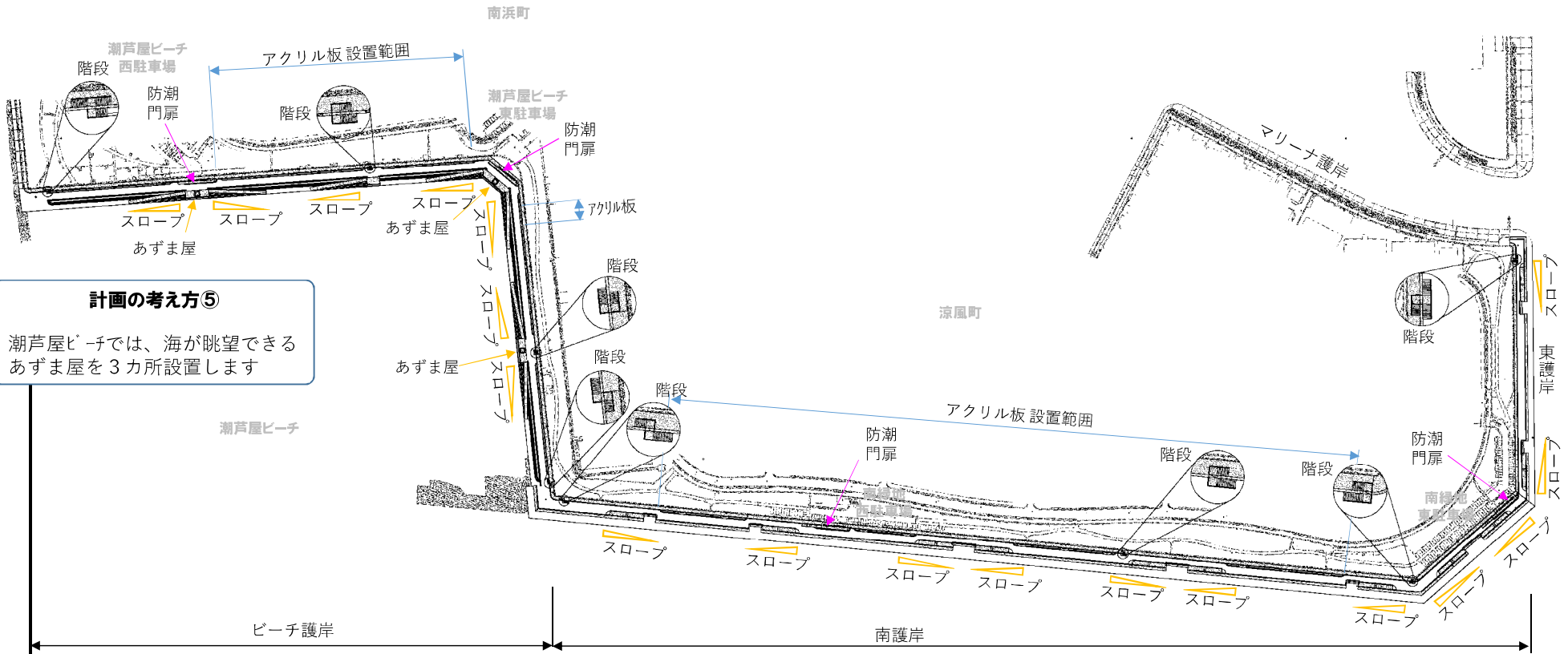
後壁の出入りは階段もしくは防潮門扉で行います  
中壁の出入りはスロープで行います

## 計画の考え方③

防潮堤の背後からの景観に配慮して、住宅地のある範囲において透明のアクリル板を設置します

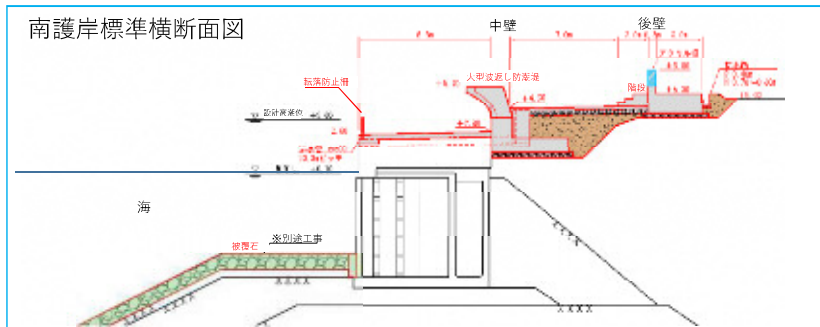
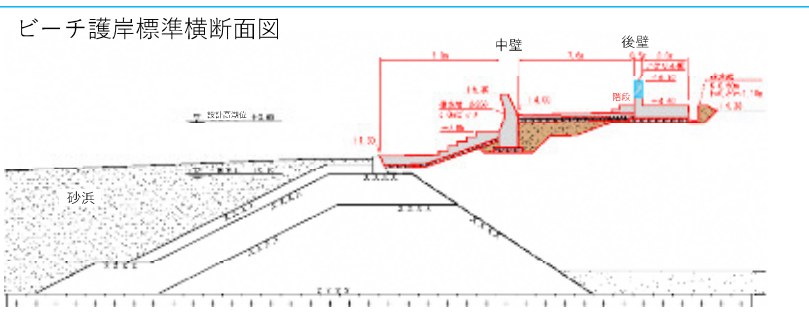
## 計画の考え方④

コンクリート製の防潮堤の圧迫感を軽減するため、防潮堤（後壁）の壁面や階段部には化粧型枠を用います



## 計画の考え方⑤

潮芦屋ビーチでは、海が眺望できるあずま屋を3カ所設置します



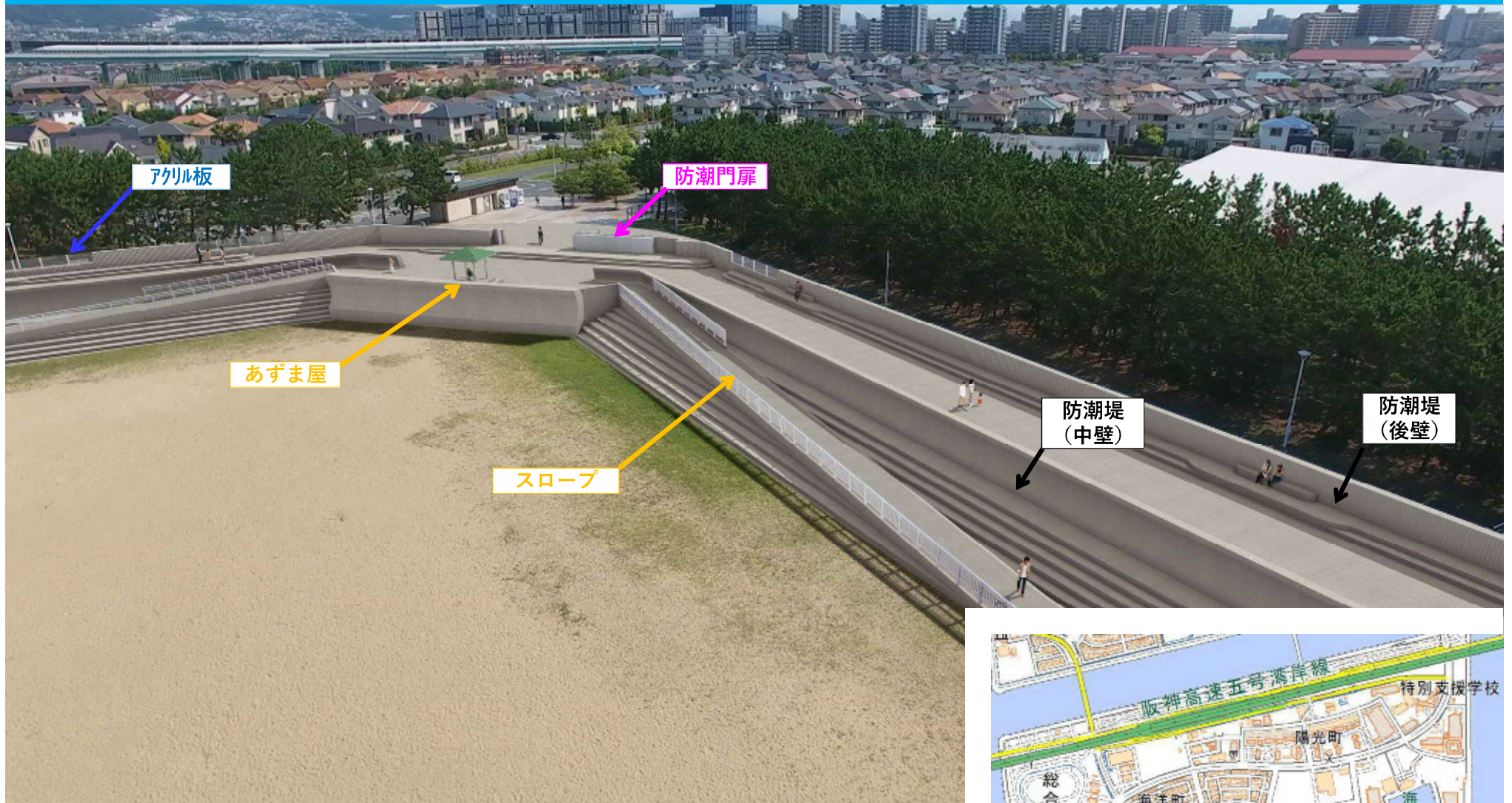


# ビーチ護岸 対策イメージ ①





## ビーチ護岸 対策イメージ ②





# ビーチ護岸 対策イメージ ③





# 南護岸 対策イメージ ①





# 南護岸 対策イメージ ②





# アクリル板 配置案（南護岸背後の住宅地からの景観）

1案

防潮堤（後壁）のピッチ割：アクリル部 8 m + コンクリート部 8 m  
（アクリル板の高さ：1.0m）



3案

防潮堤（後壁）のピッチ割：アクリル部 4 m + コンクリート部 4 m  
（アクリル板の高さ：1.0m）



2案

防潮堤（後壁）のピッチ割：アクリル部 6 m + コンクリート部 6 m  
（アクリル板の高さ：1.0m）



4案

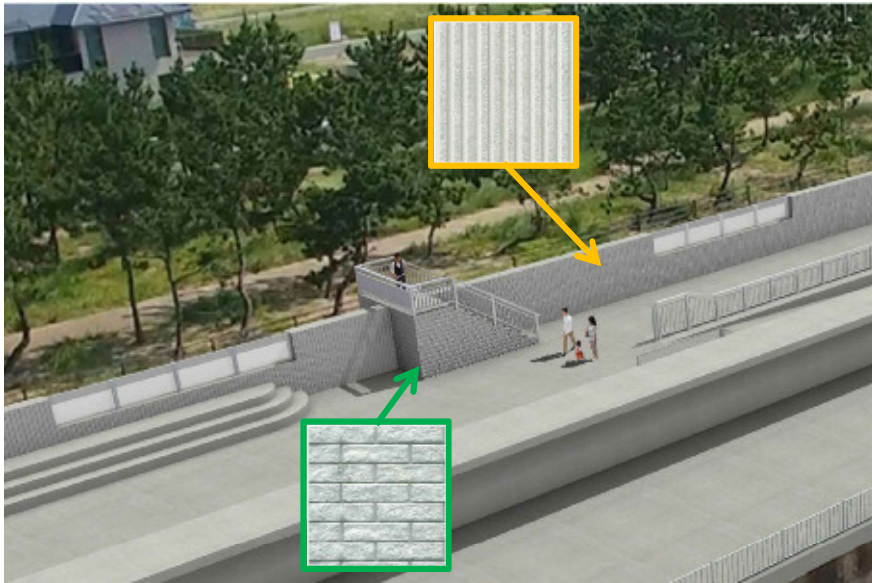
防潮堤（後壁）のピッチ割：アクリル部 8 m + コンクリート部 2 m  
（アクリル板の高さ：0.6m）



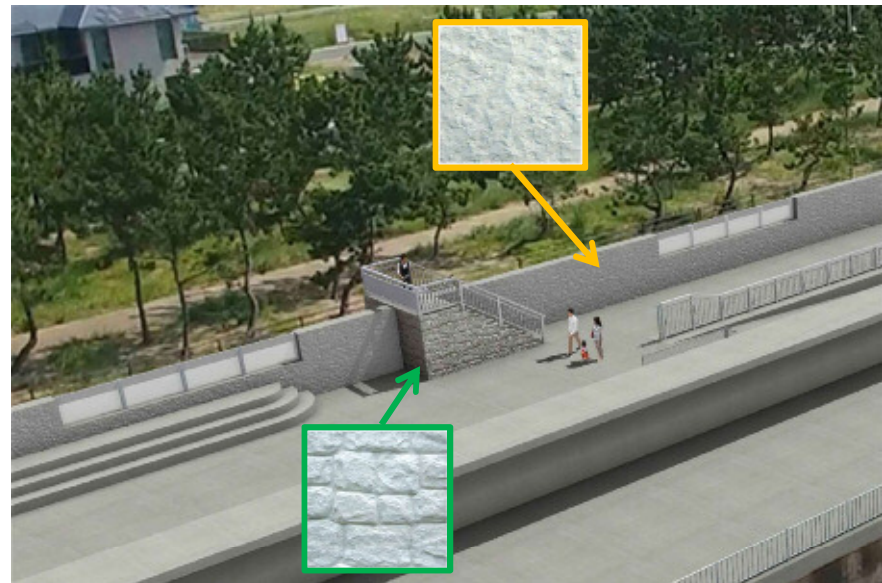


# 化粧型枠（コンクリート模様）のパターン案

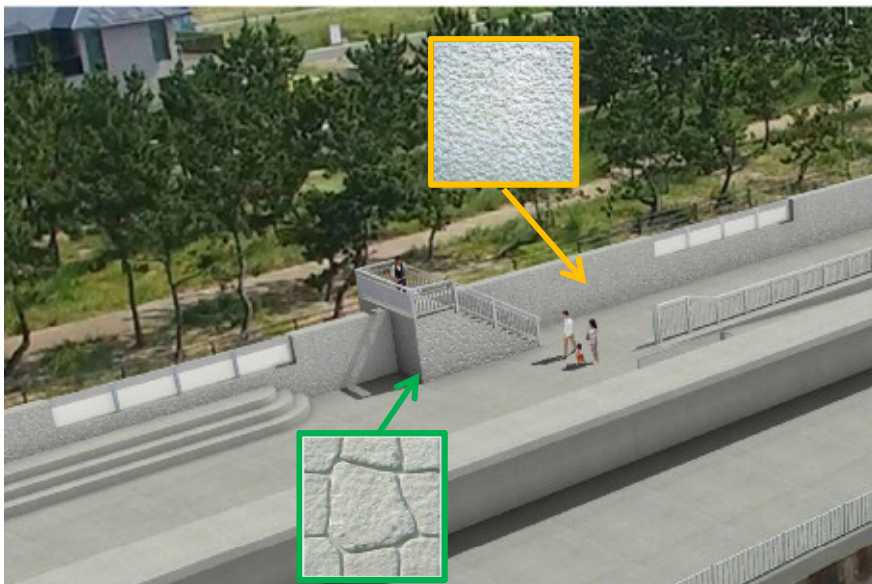
1案. リブ模様の防潮堤+レンガ模様の階段



3案. 石割肌模様の防潮堤+雑割石模様の階段



2案. はつり模様の防潮堤+野面石模様の階段



リブ	はつり	いしわりはだ 石割肌
		
レンガ 煉瓦	のづら 野面石	ざつわりいし 雑割石
		